

Ⅲ 平成24年度体育・スポーツ推進計画主要施策の実施状況

基本施策（5つの柱）別総括

（記載様式1号）

柱3																	
競技力の向上																	
（目標） 都道府県対抗8位以内 未来のアスリートの発掘・育成・強化																	
基本施策目標の達成状況																	
指標	現状（H23）	達成状況（H24）	目標（28年）														
○国民体育大会入賞 都道府県対抗順位	都道府県対抗 7位	都道府県対抗 7位	都道府県対抗 8位以内														
（基本施策指標） 国民体育大会における都道府県対抗順位																	
<table border="1" style="margin: auto;"> <caption>国民体育大会における都道府県対抗順位</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				年度	順位	H23	7	H24	7	H25	-	H26	-	H27	-	H28	-
年度	順位																
H23	7																
H24	7																
H25	-																
H26	-																
H27	-																
H28	-																
（総括） 施策1 選手の育成・強化、指導者の養成・確保 <ul style="list-style-type: none"> 「国民体育大会派遣」、「国民体育大会千葉県大会の開催」、「国体選手強化・サポート事業」、「ちばジュニア強化事業」、「指導者の適性配置・確保」を具体的な取組として事業を推進しました。この施策の指標「国民体育大会における少年種別順位」は、平成24年度6位であり、平成23年度4位と比べて下降しましたが、これは平成22年度千葉県国体において少年種別の主力であった選手が卒業したことによるものと分析しています。今後は、徐々に平成23年度程度まで回復するだろうと予測しています。この傾向は、平成17年度きらめき総体後にも同様でした。 施策2 競技力向上のための環境整備 <ul style="list-style-type: none"> 「競技用具等整備事業」、「トップチーム支援事業」、「県有スポーツ施設の有効活用」、「選手・指導者の参加条件の整備」を具体的な取組として事業を推進しました。 																	

この施策の指標「競技用具等整備事業達成度」は、平成23年度から平成27年度までの整備計画における達成度を見取ることとしています。平成24年度は、6競技団体に対し総額10,720,000円の整備を行い、平成23年度からの累計で42.7%達成しました。

施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用

- 「基礎能力測定・障害相談・栄養相談」、「スポーツドクター・アスレティックトレーナー等の派遣」、「メディカルチェックの実施」、「ドーピング防止に関する教育・研修」を具体的な取組として事業を推進しました。

この施策の指標「スポーツ選手医・科学サポート事業活用団体数」は、全39競技団体中、すべてにおいて活用されることを目標としています。平成24年度の活用団体は21団体であり、平成23年度の24団体より3団体減少する結果となりました。

施策4 組織・調査等の充実

- 「競技力向上推進本部会議の開催」、「関係団体等との連携促進」、「各種会議の開催による研修の充実」、「国体選手選考・強化活動調査事業」、「広報活動の充実」を具体的な取組として事業を推進しました。

内容や進め方を検討し、建設的な議論がなされ研修の効果があがるよう、各種会議や研修会の充実を目指します。

さらに、本県アスリートの活躍を県民に広く周知されることを目指し、広報活動の充実を図ります。

今後の課題と対応

- 国民体育大会において本県選手が活躍することが、県民にとってどのように捉えられていて、本県のスポーツ振興にどのように影響するのを見取るために、県民アンケートにおいて競技力の向上への関心度を調査した結果、成人の場合男性：63.7%、女性：68.5%、全体：66.6%が、「おおいに関心がある」あるいは「まあ関心がある」と答え、児童生徒では、80%を超える者が同様に答えています。

この結果は、競技力向上への期待が高く、国民体育大会の入賞や未来のアスリートの発掘・育成・強化に関する施策は、県民の理解を得ていると考えられ、ひいては本県のスポーツ振興の推進につながるものと捉えることができます。

今後は、各施策の進捗状況を確認し、効率的に実施し成果につながるよう事業を充実させていただきます。

施策1 選手の育成・強化、指導者の養成・確保

- 男女総合の都道府県対抗としての成績は7位をキープしているものの、内容的には千葉国体後に下降傾向にある成年の落ち込みを、少年が食い止めている状況です。

今後は、未来のアスリートの発掘とそれを育てる指導者の育成を図り、千葉で育ったジュニアの選手がそのまま成年の選手として活躍できるしくみ作りを進めます。

また、この中で育った選手や指導者を人的資源として県民のスポーツの推進に還元できるよう努めてまいります。

施策2 競技力向上のための環境整備

- 競技用具等の整備事業については、整備計画（平成23年度～平成27年度）の途中であるが、ルール改正等による品目の変更が必要になることが考えられます。

基本的には整備計画に基づき進めていくこととなりますが、関係会議での検討を経て、できる限り各競技団体の実情に沿って整備します。

また、平成 28 年度以降の整備について検討を始めます。

施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用

- ・ スポーツ医・科学の積極的な活用については、活用の実数に若干の落ち込みはが見られ、各競技団体の中に千葉国体に向けて高まった活用意欲が減退していく様子が見えがえします。
千葉国体の前後で、競技団体ごとの強化方針に変化が現れている中、新しい強化方針におけるスポーツ医・科学の活用への価値観が高まるよう働きかけます。

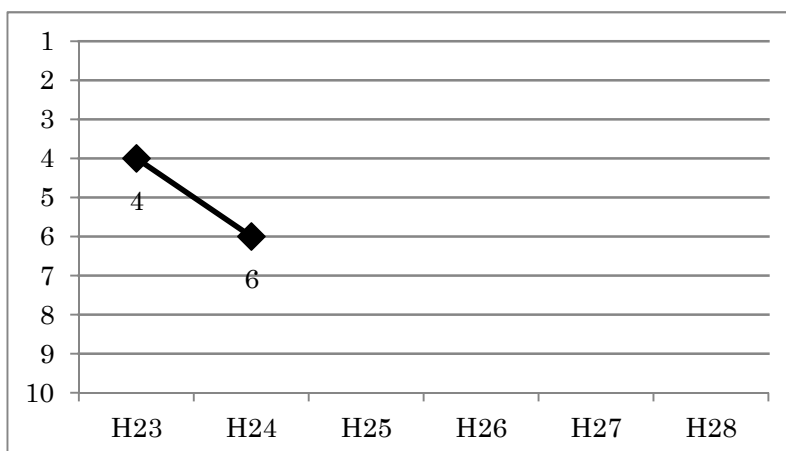
施策4 組織・調査等の充実

- ・ 組織・調査等の充実については、「推進本部」を中核として組織を充実させるとともに、各競技団体においては、競技力の向上や当該競技の普及はもちろんのこと、事務処理の適正化を含む組織としての充実に向けて支援を進めます。
特に広報活動については、県民の競技力の向上への高い関心度に応えるために、本県にゆかりのある選手やチームの活躍状況等の内容について充実に努めます。

柱3 競技力の向上(基本施策に紐づく下位指標の達成状況)

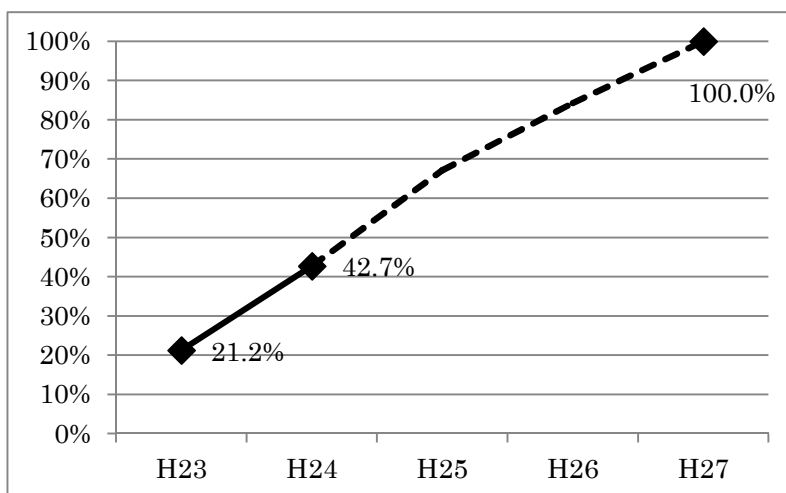
施策1 選手の育成・強化、指導者の養成・確保

○国民体育大会における少年種別順位(4位以内)



施策2 競技力向上のための環境整備

○競技用具等整備事業の達成度(~H27)



施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用

○スポーツ選手医・科学サポート事業活用団体数(/39)

